

事業名	舟渡海水浴場環境整備事業
------------	---------------------

1. 事業目的

舟渡海水浴場は市内唯一の海水浴場として久慈市民はもとより、県内陸部の方々にも多く利用されていた。

東日本大震災の津波によって海水浴場の施設は流出したうえ、砂浜には瓦礫等が散乱し、平成 23 年夏の海開きを行うことは難しい状況にあった。

しかし、地元漁業者を中心とした清掃活動が熱心に行われたことから、市では仮設テントによる更衣室や仮設トイレを設置し、福島宮城岩手の 3 県で唯一海開きを行った。

平成 23 年の舟渡海水浴場利用者は前年に比べ半減したが、前述の地域をあげた取り組みが各種メディアに取り上げられ、海に関わる多くの人に復興への勇気を与えたものとする。また、11 月には、地元漁業者の協力による地域活性化イベント「サーモンフィッシング」が開催され、多くの釣り愛好者が訪れた。本事業は、被災した舟渡海水浴場の機能を回復させることによって地域内外の交流拠点として整備し、交流人口の増加と、さらなる地域の活性化を図るものである。

2. 事業位置図



3. 事業概要

地区名	整備概要等	事業費 (千円)	工事期間	
			着手	完了
長内町 二子地区	津波の被害を受けた市内唯一の海水浴場である「舟渡海水浴場」の環境整備を行う。 ○舟渡レストハウスの改修（木造平屋建） ○公衆トイレ建て替え	46,015 (実績)	H25. 2	H26. 3

4. 事業の経過状況

舟渡レストハウス

